

## 2022 年度 試験問題

### 政治学科基礎講義Ⅱ：19 世紀後半から 21 世紀初頭までの国際政治

#### ●試験についての注意事項

- ① 試験開始の合図があるまで、解答用紙は裏面を上にしておいてください。また、試験開始の合図があるまではこの冊子を開いてはいけません。
- ② 試験開始の合図があるまで何も記入してはいけません。なお、試験開始後、解答用紙に氏名・学籍番号などを記入しますが、担当教員名欄には「江藤名保子」と記入してください。
- ③ 試験問題は、全てマークシート式で解答するようになっています。
- ④ マークシート式の問題は全 40 問あります。問題はこの冊子の 2 ページ以降に掲載されており、解答はマークシート用の解答用紙に記入します。マークシートの解答番号は、1 から 40 までを利用し、他の解答番号欄には記入してはいけません。解答に際しては、下記の「マークシートの記入についての注意事項」をよく読んでください。
- ⑤ 配点は各 2 点です。
- ⑥ 問題・解答用紙に落丁、乱丁、印刷不鮮明などの箇所がある場合には申し出てください。

#### ●マークシートの記入についての注意事項

- ① 学籍番号も含め、全て鉛筆で記入してください。機械で読み取れない可能性があるため、ボールペンは決して用いないでください。
- ② マークシートの番号は、左から右に「① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩」の順で配列されています。学籍番号記入欄は、上から下にこの順番で並んでいます。
- ④ 消し残しのために二重記入（不正解）と機械により判断されることがあります。その場合、救済措置はとらないので注意してください。解答を訂正する場合は、消しゴムでよく消すようにしてください。

問1. 20世紀初頭までの非ヨーロッパの世界観に関する説明として適切でないものを以下の選択肢の中からすべて選びなさい。

- ① 人々のアイデンティティの根拠は宗教共同体にあり、国家は原理的には「事実上の (de fact)」存在にすぎない。
- ② 1648年に結ばれたウェストファリア条約によって君主たちは世俗世界における教会の権威を否定し、それぞれの支配地域に対する「主権」を相互に承認した。
- ③ 皇帝の「徳」を絶対至高のもととして、肯定と諸種族との同心円的な支配・従属の関係が築かれていた。
- ④ 国際社会では絶対的な「平和」はありえず、「平和」とは「国力」の均衡に依拠した相対的平和にとどまる。

問2. 現代とはどのような時代かを考えるとき、テキスト（『国際政治史—世界戦争の時代から21世紀へ』）の筆者は「西洋近代の負の側面の克服」に意義があると主張する。筆者のいう「西洋近代」の3要素の組み合わせとして正しいものを以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① 資本主義, アナーキズム, 人権
- ② 国民国家, アナーキズム, ウェストファリア体制
- ③ 資本主義, 国民国家, 人権
- ④ 資本主義, アナーキズム, ウェストファリア体制
- ⑤ ウェストファリア体制, 国民国家, 人権

問3. 第一次大戦に関する記述として最も適切なものを、以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① 日本は中国の満州地方における排他的権益を獲得すべく、イギリス側に立って参戦し、戦後はこの地域を委任統治領として獲得した。
- ② 第一次大戦後は、イギリスがエジプトやシリアを、フランスがアルジェリアやチュニジアを、委任統治することになった。
- ③ 敗戦により、ドイツはフランス、ポーランド、デンマークらに領土を割譲し、またすべての海外植民地を失った。
- ④ 戦後、アジア・太平洋地域の国際関係を安定化させるために、1921年にロンドン軍縮条約が開かれ、戦艦・航空母艦保有比率において、日本はイギリス、アメリカと対等の

地位を得た。

問4. 戦争に関する記述として最も適切なものを，以下の選択肢の中から選びなさい。

- ① 20世紀以前に起こった戦争のうちで最も多くの犠牲者を出したのは，16世紀ドイツで生じた「30年戦争」である。
- ② 20世紀前半と後半とでは，後半の方が戦争および大規模武力紛争における犠牲者数が多い。
- ③ 第一次大戦後に創設された国際連盟は，実際には戦勝国中心の組織であり，敗戦国のドイツ，および資本主義に敵対的なソビエト連邦は加盟しなかった。
- ④ オスマン・トルコの広大な領土は第一次世界大戦後に解体され，現在のシリアとレバノンにはフランスの委任統治領となった。

問5. 以下の空欄（ A ）に当てはまる最も適切な語句を以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

ソヴィエトのなかで次第に勢力を強めた（ A ）は，「すべての権力をソヴィエトへ」と主張した。1917年11月7日に（ A ）は武装蜂起し，臨時政府に変わって権力を奪取した。これが「十月革命」である。

- ① 労農兵士ソヴィエト
- ② 第二インターナショナル
- ③ 共産党
- ④ ボルシェビキ

問6. 第1次世界大戦後中の1918年1月に議会に対する教書の中で「14カ条」として知られる包括的な講和の原則を提示した米大統領の名前を，以下の選択肢の中から選びなさい。

- ① リンカーン大統領
- ② ウィルソン大統領
- ③ ルーズベルト大統領
- ④ カーター大統領

問7. 第一次世界大戦後に形成されたヨーロッパの秩序は「ヴェルサイユ体制」と呼ばれる。ヴェルサイユ体制の特徴に関する最も適切でない記述を以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① 米国を中心につくられた為替相場安定のメカニズムであり、1971年のニクソンショックまで続いた。戦後の西側諸国の経済復興を支えた。
- ② 戦争の帝国主義的性格を反映して、戦勝国による敗戦国の領土略奪と分割の体制であった。
- ③ 植民地や従属国の民族主義勢力は民族自決原則に大きな期待を寄せたが、戦勝国の植民地体制は揺らがなかった。
- ④ 国際連盟が創設され、国際社会は初めて戦争を違法と定めることで合意するとともに、それを保証する集団安全保障体制を立ち上げた。

問8. 1920年代のアメリカは「蝶つがい国家」と特徴づけられることがある。「蝶つがい国家」アメリカに関する説明として最も適切なものを以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① アメリカは、アジアのワシントン体制とヨーロッパのヴェルサイユ体制の相互の緊密化をそれぞれの体制の中心である日本とドイツに委ねた。
- ② ドイツがヴェルサイユ条約の修正を求めた際のアメリカの対応はヴェルサイユ条約に明記されていた。
- ③ 日本の中国への侵出が行われた際にアメリカがとるべき条約上の対応の厳しさにはアメリカ国内でも批判があった。
- ④ 日本もドイツも大きく現状を変えることはないだろうとアメリカは想定していた。

問9. 1930年代における、いわゆる「宥和政策」の具体的な事例として、最も適切なものを以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① 「ミュンヘン会談」におけるドイツへの譲歩
- ② 「ホーア＝ラヴァル計画」
- ③ 日本の満州侵略に対するあるイギリス植民政策推進者の非難
- ④ スペイン内戦における独仏の干渉政策破棄

問10. 1941年に発表された大西洋憲章に明示的に含まれないものを、以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

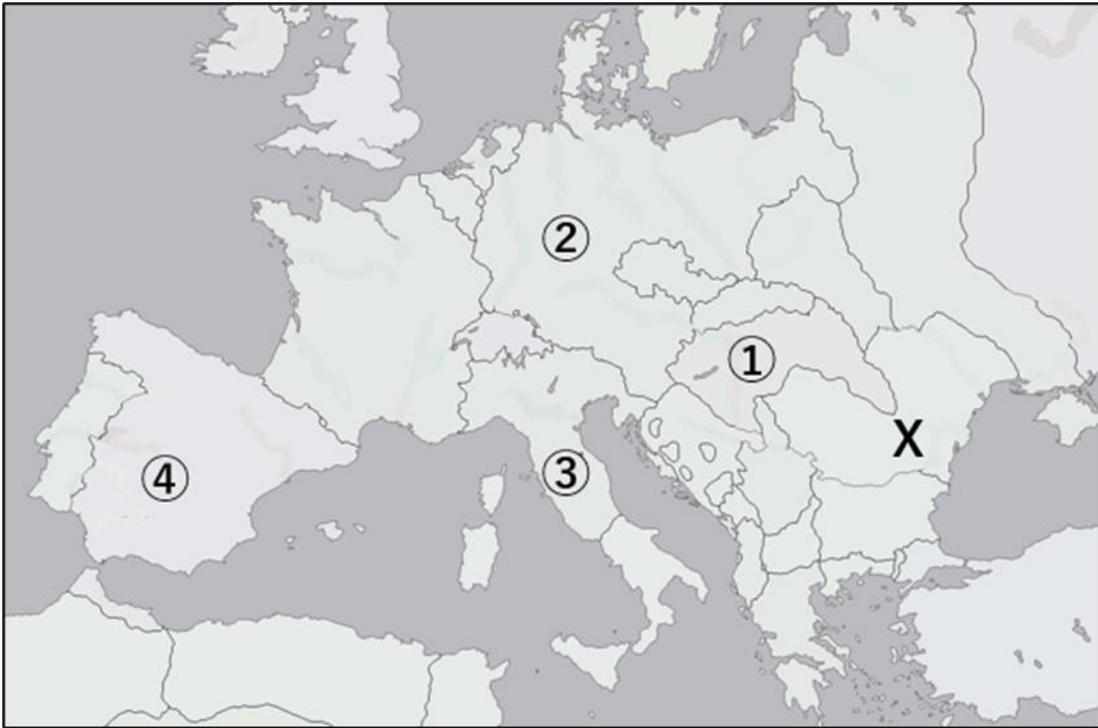
- ① 領土不拡大
- ② 領土不変更
- ③ 言論と信仰の自由
- ④ 恐怖と欠乏からの自由

問11. ブレトン・ウッズ体制についての説明のうち、最も適切でないものを以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① 金ドル本位制に基づく調整可能な固定相場制を採用した国際通貨基金協定により、各国は為替介入を通じて固定されたドルとの交換レートを維持しなければならなかった。
- ② ブレトン・ウッズ体制の下では、対外的には自由・無差別・多角的な通商関係が展開し、国内的には自由市場に依拠した経済運営が行われるという意味で、文字通り国家が自由主義に埋め込まれることとなった。
- ③ ソ連はブレトン・ウッズ会議に代表を派遣し、国際通貨基金協定および国際復興開発銀行協定に暫定的に署名したものの、最終的には両機関に加盟しないことを決断した。
- ④ 連合国の多くがブレトン・ウッズ体制に参加したことと、それらの国々が戦後復興に向けてアメリカからの援助に依存していたことは、表裏一体の関係にあった。

問12. 第2次世界大戦の終結に向けた動きの中で、1943年に降伏し、下図のX国とともに、日本の占領管理の実権をめぐるアメリカとソ連の駆け引きに影響を及ぼした方式が採用された前例となった国はどこか。図の選択肢の中から1つ選びなさい。

図 1943 年後半のヨーロッパ



問13. 第二次世界大戦後のソ連と東ヨーロッパ、および両者の関係についての説明として最も適切なものを以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① 東ヨーロッパ諸国の政治体制は、共産党一党独裁の外見をもった、しかしその実態は限定的な自由民主主義体制であった。
- ② ワルシャワ条約機構は、実質的に、東欧諸国のソ連に対する自律性を高めるための手段となった。
- ③ ソ連の模倣でない独自の社会主義建設を目指した国として、チェコスロヴァキアを挙げることができる。
- ④ ソ連の東欧支配は、安全保障に関してソ連（ロシア）がみせてきた伝統（周囲に対する異常なまでの警戒感など）から理解することもできる。

問14. 第二次世界大戦後のアメリカの西ヨーロッパに対する関与の様態を「招かれた帝国」と特徴づけることがあるが、それに関連する記述として最も適切なものを以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① チャーチルの「鉄のカーテン」演説に、アメリカにおけるソ連脅威論を高める効果を読み取ることができる。
- ② マーシャル・プランの策定には、イギリスやフランスの外務大臣が深く関わり、アメリカの関与をほとんど許さなかった。
- ③ NATOの集団安全保障の導入を主導したのはアメリカであり、ヨーロッパの期待以上の大きな役割をヨーロッパの安全保障分野で果たすこととなった。
- ④ ヨーロッパの東西対立は、アメリカとソ連の代理戦争、すなわち「ヨーロッパにおける冷戦」をその中核的な特質とするものであった。

問15. ドイツの占領と東西分断に関する説明として最も適切なものを以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① 戦後のドイツは英米仏ソ4カ国による分割統治下に置かれたが、ベルリンだけは国際連合の管理下に置かれた
- ② 1949年に成立するドイツ連邦共和国の前身は、一種の経済統合地帯であったと云ってよい。
- ③ 米英の占領区とソ連占領区とはいわゆる「ベルリンの壁」によって分断された。
- ④ フランスは実際には占領地域をもたなかったため、占領の実態は、英米ソの三国による分割統治にほかならない。

問16. 以下の選択肢における記述のうち、最も適切なものを以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① 第二次世界大戦後、共産主義者のゲリラ活動を自力で抑えることが難しかった新興アジア諸国は、強力な経済力と軍事力をもつアメリカが自国の共産主義との対決に関与することを求めた。これを「招かれた帝国」という。
- ② アメリカがアジアの共産主義との対決に直接介入し、ソ連も「ブレジネフ・ドクトリン」を根拠にアジアの社会主義国を軍事的に支援したため、朝鮮戦争やヴェトナム戦争など、米ソの代理戦争とも言える「熱い戦争」が展開された。
- ③ 冷戦の激化のなか、東西両陣営から距離をおいた新興国の結集の呼びかけは「アジア・アフリカ会議（バンドン会議）」に繋がった。会議には、非同盟諸国のみならず、西側軍事同盟の参加国や社会主義国も参加し、第三世界の結集という様相を呈した。

- ④ アジアは農村地域が多く教育水準も低かったため、共産主義の内容を理解できない大衆には浸透せず、エリート中心に伝播した。そのためアジアの共産主義国家は大衆動員ができない独裁体制となった。

問17. 以下の空欄（ A ）に当てはまる語句を選択肢の中から1つ選びなさい。

「覇権システムとしての冷戦体制」と関連して、1948年6月に米国の上院で採択された（ A ）は、アメリカが国連憲章を根拠に集団的自衛権を行使するための軍事同盟に加わる意思を示したもので、西側ブロックの形成を促進した。

- ① トルーマン・ドクトリン
- ② 平和への布告
- ③ ヴァンデンバーグ決議
- ④ マーシャル・プラン

問18. 第二次世界大戦後の脱植民地化に関連して、①～④に示す「旧宗主国－独立国－民族運動指導者」の組み合わせのうち、最も適切なものを以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① イスラエル－エジプト－ナセル
- ② オランダ－インドネシア－スカルノ
- ③ アメリカ－ヴェトナム－ホー・チミン
- ④ ソ連－朝鮮民主主義人民共和国－金日成

問19. 以下の空欄（ A ）に当てはまる国名を以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

東側ブロックでは、東欧諸国のなかで独自の「社会主義への道」を志向した（ A ）の共産党が1948年にコミンフォルムから追放され、ソ連による統合と支配が強まっていった。（ A ）は、コメコンやワルシャワ条約機構からも排除されて加入していない。

- ① ユーゴスラヴィア
- ② チェコスロヴァキア
- ③ ハンガリー

## ④ ブルガリア

問20. 敗戦した日本が国際社会に復帰する契機となる講和会議は、米国が「対日講和7原則」を提示して主導し、1951年にサンフランシスコ講和条約が調印された。しかし、講和会議に招待されなかった国、「対日講和7原則」に異議を唱えて参加を拒否した国、会議に参加したが講和条約に調印しなかった国があり、当事国の偏りゆえに「片面講和」とされた。下記には、講和会議に招待されたが「対日講和7原則」に異議を唱えて参加を拒否した国が1つある。その国名を以下の選択肢の中から選びなさい。

- ① 中華人民共和国
- ② ソ連
- ③ 大韓民国
- ④ インド

問21. 第二次世界大戦に関連する人道に対する罪について、最も適切でない記述を以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① ナチスドイツによるユダヤ人の虐殺の悲劇から、1948年に国連総会でジェノサイド条約が締結され、日本は長く非加盟であったが、冷戦後に同条約を批准し、加盟した。
- ② アメリカによる広島、長崎への原爆投下は、極東国際軍事裁判所では人道に対する罪としては裁かれなかった。
- ③ ニュルンベルグ国際軍事裁判は、人道に対する罪でナチ党やドイツ政府関係者が裁かれたが、事後法による裁判との批判があった。
- ④ 広島、長崎の惨劇により核兵器の使用は戦争の手段として許容限度を超えるという共通認識が形成されたが、核兵器の使用を禁じる条約は近年になるまで成立しなかった。

問22. 核兵器に関する説明として最も適切な記述を以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① MIRVの開発・配備により核兵器の先制攻撃の誘因が高まった。
- ② 部分的核実験禁止条約により大気、水中、地下での核実験、臨界前実験が廃止された。
- ③ 核兵器禁止条約の発効により、核のない世界の実現に着実に向かっている。

- ④ MAD を維持するために米ソは弾道弾迎撃ミサイル（ABM）の開発に取り組んだ。

問23. 社会主義体制の揺らぎに関する記述として最も適切なものを以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① ゴルバチョフ書記長が導入したグラスノスチにより計画経済が廃止され、経済の自由化が進められた。
- ② 1968年に起きた「プラハの春」で、国家主権よりも社会主義陣営の共通の利益が優越するとするブレジネフドクトリンが提示された。
- ③ 1975年のワルシャワ宣言では、東側は経済協力の代償として人権尊重規定を受け入れることになり、社会主義体制の弛緩へとつながっていった。
- ④ 東ベルリンを通じた西ドイツから東ドイツへの大量の人口流出を防ぐために1961年にベルリンの壁が構築された。

問24. アメリカの覇権の揺らぎに関する説明として、最も適切でない記述を以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① ベトナム戦争への介入による多額の戦費により「ドル危機」が発生した。
- ② 1970年代から80年代にかけてアメリカは巨額の財政赤字と貿易赤字に苦しんだ。
- ③ 1973年に変動相場制に移行し、ドルは基軸通貨としての役割を失った。
- ④ 1973年の石油ショックは、産油国であるアメリカ経済にも深刻な悪影響を及ぼした。

問25. 新冷戦と脱冷戦に関する説明として最も適切な記述を以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① アフガニスタンにおいてイスラム革命が起きると、ソビエトはアフガニスタンに派兵し、親ソ政権の樹立を画策した。
- ② アメリカの限定核戦争論は、ヨーロッパにおいて「共通の安全保障」の意識を高めることになった。
- ③ 米ソ首脳はINF条約を批准し、大陸弾道ミサイルの開発と保有数を相互に制限した。
- ④ 1989年になると東欧で共産主義政権が次々と倒れ、同年ソ連邦も解体した。

問26. 現代世界の行方に関する説明として最も適切でない記述を以下の選択肢の中から選びなさい。

- ① 西洋政治思想史においては少なくとも18世紀までは長い間、共和政・民主政は好戦的で不安定な政治体制であるという評価が主流であった。
- ② アメリカの政治学者フランシス・フクヤマは『歴史の終わり』の中で、社会主義圏の崩壊後は、自由民主主義が唯一正当な政治理念となると主張した。
- ③ アメリカの政治学者サミュエル・ハンチントン『文明の衝突』の中で、日本、中国、ならびに韓国を儒教文化圏として一括した。
- ④ ヨーロッパの啓蒙思想やマルク主義によれば、貧富の格差・対立が社会対立の主たる原因であり、貧富の格差が抑制されれば、社会対立も抑制される。

問27. 国内対立に関する説明として最も適切な記述を以下の選択肢の中から選びなさい。

- ① ユーゴスラビア内戦の一因として、経済的に先進的なセルビア、スロベニアと、後進的なクロアチア、ボスニアとの対立があった。
- ② ユーゴスラビア連邦を構成するすべて各共和国においてセルビア系の住民が2割以上暮らしており、そのことによって民族紛争はユーゴスラビア連邦全体に広がった。
- ③ 中東のバーレンでは国民の多数派を占めるスンニ派住民と政治権力を握る少数派のシーア派住民が対立している。
- ④ ソビエト連邦解体後、ウクライナ、アゼルバイジャン、アルメニアといった旧連邦加盟国で地域紛争が生じている。

問28. 政治共同体に関する説明として最も適切でない記述を以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① イギリス、フランス、日本など現在比較的文化・民族対立が少ない国々も、過去においては支配的な文化の押し付けによって国民国家を形成した過去がある。
- ② ある時期から、オスマン帝国や中華帝国においては、民族や世襲身分制に立脚しないエリート登用システムが確立され、そのことが多文化・多民族の帝国の維持に貢献した。
- ③ 民族・文化・宗教などが多様である国を平和的に統合する政治体制を提案したレイブハルトは、その際にアメリカ合衆国をモデルとした。

- ④ 民族や血統に基づく偏狭なナショナリズムを批判して、ルナンやオルテガは、より開かれた政治共同体を構想した。

問29. イギリスが1917年のバルフォア宣言で約束したこととして適切なものを以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① ヨーロッパにおけるユダヤ人国家建設
- ② パレスチナにおけるユダヤ人国家建設
- ③ 英仏露によるオスマン帝国の領土分割
- ④ オスマン帝国支配下アラブ地域の独立

問30. 以下の空欄（ A ）、（ B ）に入る最も適切な組合せを、以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

1956年から1957年にかけて勃発した第二次中東戦争は、（ A ）がイスラエルと共謀して（ B ）の軍事的再支配をもくろんだもので、パレスチナ問題をめぐって展開された他の3回の中東戦争とは性格を異にする。

- ① (A)アメリカ、イギリス、(B)スエズ運河
- ② (A)フランス、イギリス、(B)スエズ運河
- ③ (A)アメリカ、フランス、(B)アスワン・ハイ・ダム
- ④ (A)イギリス、フランス、(B)アスワン・ハイ・ダム

問31. 湾岸戦争時のアメリカとイラクの大統領の組み合わせとして正しいものを、以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① ビル・クリントン；ヤセル・アラファト
- ② ビル・クリントン；サダム・フセイン
- ③ ジョージ・H・W・ブッシュ；ヤセル・アラファト
- ④ ジョージ・H・W・ブッシュ；サダム・フセイン

問32. 以下の空欄（ A ），（ B ）に入る最も適切な組合せを，選択肢の中から1つ選びなさい。

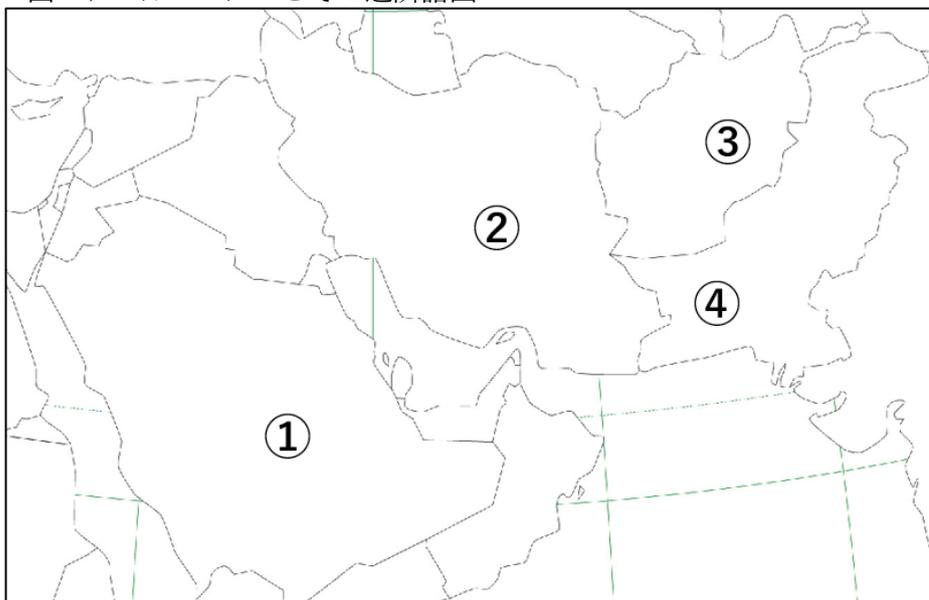
1991年の湾岸戦争勃発においては，国連憲章が本来経済制裁と軍事制裁を区別するものであるにもかかわらず，国連安保理が1990年11月29日に採択した安保理決議678によって，経済制裁を規定する国連憲章第7章（ A ）の履行を確保するための延長線上に事実上（ B ）による武力行使を認めたことが大きな分水嶺となった。

- ① (A)第41条, (B) 多国籍軍
- ② (A)第41条, (B) 国連軍
- ③ (A)第42条, (B) 多国籍軍
- ④ (A)第42条, (B) 国連軍

問33. 次の囲みにおける X 国に該当する国はどこか。下図に示した①から④の選択肢の中から1つ選びなさい。

- 1979年にソ連がアフガニスタンに侵攻した際に，アフガニスタンのムジャヒディーンを支援しようとするアラブ・アフガンは，X国からアフガニスタンに出撃した。
- アフガニスタンからソ連軍が撤退した後の1990年代前半に出現したタリバンの多くが，X国の難民キャンプ出身であった。
- X国は，1990年代にはアフガニスタンのタリバン政権と国交を樹立していたものの，アメリカが「不朽の自由」作戦を展開するに当たって，同国からの圧力を受けて政策転換を迫られた結果，タリバン政権との外交関係を断絶した。
- 2011年5月2日に，当時のアメリカ大統領オバマは，X国に潜伏していたアルカーイダの設立者であるウサマ・ビン・ラディンを，アメリカ軍の作戦によって殺害したと発表した。

図 アフガニスタンとその近隣諸国

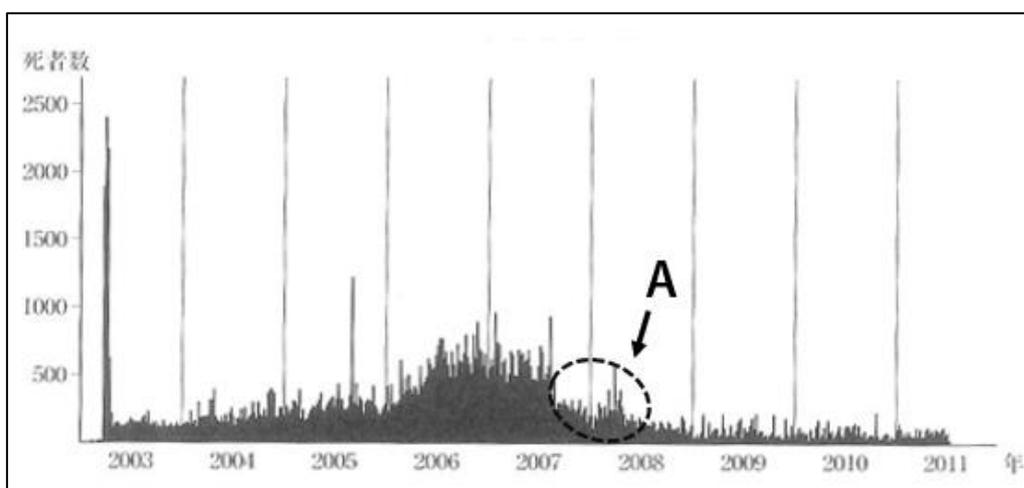


問34. 「ならず者」に関連する説明として最も適切なものを、以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① アメリカとその同盟国を正義とし、「ならず者」国家を悪とする、ブッシュ（Jr）政権が示した極端に二分化された世界観は、アメリカの自由と民主主義を普遍的・絶対的な原理と見なす政治的伝統に基づくものであり、道徳主義によって導かれていた。
- ② アメリカは、「関与と拡大政策」に基づき、市場経済と民主主義を拡大するために世界各地に介入し、自国のヘゲモニー下に新秩序を形成しようとする観点から、専制支配下にある国や極端な人権侵害を行っている国を矯正すべき「ならず者」国家と定め、体制転換を図ろうとした。
- ③ 9. 11 事件後、国境を越える形でテロリストのネットワークが急速に広がったため、一国で「ならず者」国家を封じ込めるには限界があると判断したアメリカは、従来の単独主義から国際協調路線に転じ、国連の安全保障理事会を率先して開催し、テロ攻撃に対する自国の措置が同理事会の決議によって国際法上正当化できるようにした。
- ④ アメリカがどの国が「ならず者」国家であるのかを判断するという意味で、極めて独善的な外交姿勢は、ネオコンを支持勢力とするブッシュ（父）・ブッシュ（Jr）の二代にわたる共和党政権に共通するものであり、国家主権を尊重する民主党のクリントン政権とは一線を画していた。

問35. 次の図は、2003年から2011年を対象期間とする、イラクにおける同国の民間人の死者数を示したグラフである。Aで示した時期においてアメリカが行った対策についての説明のうち、最も適切でない記述を以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

図 イラクの民間人の死者数



- ① 「お金は弾丸である」との考えに基づき、ライフ・ラインの復興など、民衆のために資金を支出して「民心の掌握」に努めた。
- ② 従来兵力ではイラクにおける治安を脅かす勢力を掃討できないと判断し、イラクに派兵するアメリカ軍の兵力を一時的に増加させた。
- ③ 反発を招かないように民衆から距離をとりつつ、市中のパトロールを強化し、武装した治安部隊による兵員車両を活用した巡回の頻度を高めた。
- ④ 脱バース化政策に反発し、アメリカに対する抵抗勢力となっていたスンニ派對策として、同派の若者を自警団のような形で取り込み、アルカーイダに対する共闘勢力に変えていった。

問36. アメリカ大統領選挙に関する説明として最も適切な記述を以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① アメリカ大統領選挙でインターネットをメディアとして利用した選挙活動が行われるようになったのは、「情報スーパーハイウェイ構想」を公約としたクリントン候補が当選した1992年大統領選挙である。
- ② アメリカ大統領選挙でインターネットをメディアとして利用した選挙活動が行われるようになったのは、クリントン政権の副大統領であったアル・ゴア候補が当選した2000年大統領選挙である。
- ③ アメリカ大統領選挙でインターネットを活用した選挙活動を行なった民主党のオバマ氏が、民主党の大統領候補の本命と予想されたクリントン氏を破って民主党の大統領候補となり、2008年大統領選挙で勝利した。
- ④ アメリカ大統領選挙でインターネットをメディアとして独自の選挙活動を行ったトランプ氏が、本命と予想されたオバマ氏を破って勝利したのは、2016年大統領選挙である。

問37. ビッグデータに関する説明として最も適切でない記述を以下の選択肢の中から1つを選びなさい。

- ① ビッグデータとは、インターネットなどを介して（付随的にも）収集される膨大な量のデータで、企業や組織はこれらを利用することで新たな価値を創造する可能性がある。
- ② ビッグデータは、規模の大きさ、客観性、ヒューマンエラーの回避などによって、絶対的な真実性を保証されたデータである。

- ③ ビッグデータの源泉は、情報収集モバイル装置、空間センサー技術(リモートセンシング)、ソフトウェアログ、ワイヤレス・センサー・ネットワーク、SNS、検索記録、通話記録など多様である。
- ④ ビッグデータの分析・利用により、ビジネス・トレンドの予測、感染症対策、犯罪防止、リアルタイムの道路交通状況判断などが可能になると期待されている。

問38. 誹謗中傷に関する説明として最も適切でない記述を以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① インターネット上で気軽に自由なコミュニケーションを行うことができるようになった一方で、匿名のまま不特定多数に向けて特定個人の誹謗中傷を書き込んだり、特定個人のアカウントに対して一方的に誹謗中傷のメッセージ等を発信したりする例が増えている。
- ② 誹謗中傷メッセージについては、発信者情報開示も検討される場合がある
- ③ 軽い気持ちで行った誹謗中傷であっても、法的責任を問われる場合がある。
- ④ ただし、「誹謗中傷」と受け取られる言葉であっても、それが「事実」であるならば、問題とされることはない。

問39. 世界のデジタル市場に関する説明として最も適切でない記述を以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

- ① 世界のデジタル市場を主導する四つの企業を GAF A と呼ぶことがあるが、その「G」は Google を表している。
- ② 世界のデジタル市場を主導する四つの企業を GAF A と呼ぶことがあるが、その「A」は Apple を表している。
- ③ 世界のデジタル市場を主導する四つの企業を GAF A と呼ぶことがあるが、その「F」は現在の Microsoft を表している。
- ④ 世界のデジタル市場を主導する四つの企業を GAF A と呼ぶことがあるが、そのもう1つの「A」は Amazon を表している。

問40. 次の文章を読んで、( A ) から ( D ) に入る語句の組み合わせとして最も適切なものを、以下の選択肢の中から1つ選びなさい。

近年、「アテンション・エコノミー（関心経済）」という概念が注目されている。「アテンション・エコノミー」とは、人々の関心や注目の度合いが経済的価値を持つという概念である。

1969年、H.A.サイモンが「アテンション」を「人間の思考活動の弱みであり、私たちが刺激のある環境においてなにを取り込み、なにができるのかを制限するもの」と定義したことに始まるとされる。

さらに1997年に米国の社会学者M＝ゴールドハーバーが、「インターネットの普及が、情報量の爆発的増加と情報そのものの価値の低下をもたらし、（A）よりも注目を集めること自体が重要視され、資源または（B）になるという傾向を指す」概念として提唱した。

現代の多くのインターネット・ビジネスは、この「アテンション・エコノミー」をベースとしており、（C）を提供することで「アテンション」の動向を把握し、これを企業などに提供することから収益を得ている。

しかし、「アテンション・エコノミー」の隆盛により、炎上、バッシング、フェイクニュース、（D）などのインターネットトラブルが助長されているとの批判もある。

- ① A－情報の量、B－公共財、C－無料サービス、D－誹謗中傷
- ② A－情報の量、B－私財、C－特別サービス、D－陰謀論
- ③ A－情報の優劣、B－代替財、C－特別サービス、D－誹謗中傷
- ④ A－情報の優劣、B－交換財、C－無料サービス、D－陰謀論